令和5年度　特別活動全体計画　　11　杉並区立井草中学校

学校の教育目標	自主自律　創造性　豊かな心　健やかな身体
特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題をかいけつすることを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
目指す子供像	○地域を愛し、地域活動に積極的に行動する姿勢をもった生徒 ○自主的に学び、自らの判断基準をもち、自分を律し、行動できる力をもった生徒 ○豊かな体験・豊かな人との関わりを通して、豊かな心をもった生徒 ○思いやりや感謝の心をもって共に生きていく力をもった生徒 ○食を通した人との関わりを通して、豊かな心をもった生徒
特別活動の重点目標	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

	学級活動	生徒会活動	学校行事
目標	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
指導の方針	○学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。 ○学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ○学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	○生徒会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けるようにする。 ○生徒会において、学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。 ○自治的な集団における活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や地域社会における生活をよりよくしようとする態度を養う。	○各学校行事の意義について理解するとともに、行事における活動のために必要なことを理解し規律ある行動の仕方や習慣を身に付けるようにする。 ○学校行事を通して集団や自己の生活上の課題を結び付け、人間としての生き方について考えを深め、場面に応じた適切な判断をしたり、人間関係や集団をよりよくしたりすることができるようにする。 ○学校行事を通して身に付けたことを生かして、集団や社会の形成者としての自覚を持って多様な他者を尊重しながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養う。
主な指導内容	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ　学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ　学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア　自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成 イ　男女相互の理解と協力 ウ　思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応 エ　心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 オ　食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア　社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 イ　社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成 ウ　主体的な進路の選択と将来設計	(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践する。 ○生徒総会　○生徒会役員選挙　○生徒会本部役員会 ○中央委員会　○各種委員会 (2)学校行事への協力 学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりする。 ○運動会　○新入生オリエンテーション (3)ボランティア活動などの社会参画 地域や社会の課題を見いだし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにする。 ○社会を明るくする運動	(1)儀式的行事 ○入学式　○卒業式　○始業式　○終業式　○修了式　○離任式 (2)文化的行事 ○学習発表会　○合唱祭　○音楽鑑賞教室 (3)健康安全・体育的行事 ○身体計測　○薬物乱用防止教室　○セーフティ教室 ○避難訓練　○運動会　○球技大会 (4)旅行・集団宿泊的行事 ○フレンドシップスクール　○移動教室　○修学旅行 (5)勤労生産・奉仕的行事 ○キャリア体験学習　○職業体験
配当時数	(1)学級や学校における生活づくりへの参画　20単位時間 (2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全　5単位時間 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現　10単位時間	(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営　26単位時間 (2)学校行事への協力　10単位時間 (3)ボランティア活動などの社会参画　3単位時間	(1) 儀式的行事　13単位時間 (2) 文化的行事　12単位時間 (3) 健康安全・体育的行事　21単位時間 (4) 旅行・集団宿泊的行事　72単位時間（全学年合計） (5) 勤労生産・奉仕的行事　38単位時間（全学年合計）
他の教育活動との関連 各教科	学級活動における話合い活動，言語等による表現や発表，活動の企画・立案・調査などの基礎能力の育成。 （国語科を中心として全教科の学習を通じて培う。） 調査・統計の結果を効果的にまとめたり、説明したりするなどの基礎となる能力の育成。 （社会科、数学科、理科を中心として全教科の学習を通じて培う。）	生徒会活動における話合い活動，言語等による表現や発表，活動の企画・立案・調査などの基礎能力の育成。 （国語科を中心として全教科の学習を通じて培う。） 調査・統計の結果を効果的にまとめたり、説明したりするなどの基礎となる能力の育成。 （社会科、数学科、理科を中心として全教科の学習を通じて培う。）	文化的行事については、音楽科や美術科など関連教科の学習と連携を図る。 健康安全・体育的行事の運動会については、保健体育科の学習成果の発表としての視点を明確にする。
他の教育活動との関連 道徳	自他の個性や立場を尊重しようとする態度、義務を果たそうとする態度、よりよい人間関係を深めようとする態度、社会に貢献しようとする態度、自分たちで約束をつくって守ろうとする態度、より高い目標を設定し諸問題を解決しようとする態度、自己のよさや可能性を大切にして集団活動を行おうとする態度などの道徳性を，集団生活や体験活動を通して身に付ける。	全校の生徒が学校におけるよりよい生活を築くために、問題を見いだし、これを自主的に取り上げ、協力して課題解決していく自発的、自治的な活動を通して、異年齢によるよりよい人間関係の形成やよりよい学校生活づくりに参画する態度などに関わる道徳性を身に付ける。	職場体験活動やボランティア精神を養う活動や自然の中での集団宿泊体験、高齢者や障害のある人々などとの触れ合いや文化や芸術に親しむ体験を通して、よりよい人間関係の形成、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公徳心、勤労、社会奉仕などに関わる道徳性を体験的に身に付ける。
他の教育活動との関連 総合的な学習の時間	学級活動で育成する集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的，実践的な態度と，総合的な学習の時間で育成するよりよく問題を解決する資質や能力，探究的姿勢を相互に役立たせるようにする。	生徒会による諸活動を実践することを通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力、課題解決能力などを育成するとともに、これらを総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。	学校行事の趣旨である学校集団や学校生活への所属感を深め、人間関係の形成や公共の精神などを養う活動であることを配慮する。
家庭や地域との連携	学校支援本部との連携 （福祉体験，保育体験等）	学校支援本部との連携 （地域子ども促進事業　等）	学校支援本部・近隣高校との連携 （キャリア講座・職場体験・薬物乱用防止教室・高校説明会等）
備考			